



(当時) 三重紡績津工場(※)

津市の産業の歴史

明治時代から、津市では紡績業が盛んで、当時の工業生産額の80%以上を綿糸・綿織物が占め、県内でトップの生産額を誇り、大正期には当時全国有数の紡績の大工場が立地するなど、市内には数多くの工場ができました。

その後、戦後の厳しい時代を乗り越え、紡績などの繊維産業が隆盛を迎えますが、日本の高度経済成長に伴い産業構造の転換が図られ、繊維産業に代わり、食品、電気機械、輸送機械などの出荷額が増加しました。このように近代

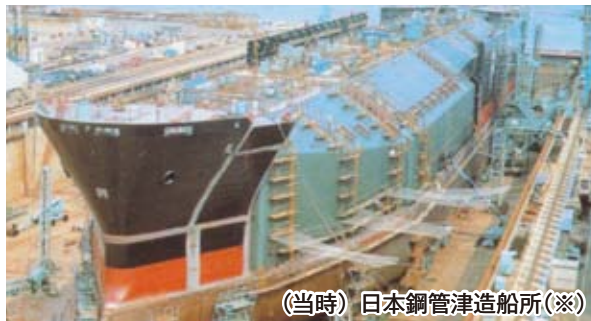


(当時) 東洋紡績津工場内部(※)

工業の発展とともに、津市の産業の礎が築かれてきました。

企業誘致のあゆみ

津市は古くから工業振興に取り組むとともに、特に昭和40年代の高度経済成長期からは市内への企業誘致に力を入れ、当時世界一のドックを持つ造船所を誘致したのをはじめ、新規産業の創出や新たな雇用の場の拡大を図ってきました。



(当時) 日本鋼管津造船所(※)

現在では、公的工業団地や工場適地などをはじめ、市内に数多くの企業が立地していますが、年々、誘致によって立地した企業も増えてきています。

津市の企業誘致実績(平成23年度)

誘致企業数

8社

分譲・賃貸面積
約235,500㎡

総投資額

約230億円

雇用見込み

300人～350人

企業誘致に伴う津市への投資効果・雇用の促進